

## 避妊について

避妊法にはいろいろとあります。

それぞれ一長一短があり、  
決定版がないからです。

行いやすさ、確実性などがそれぞれ違います。

(避妊ごとの妊娠率～避妊失敗率～についてはパールインデックスを参考にしてください。) ←ウィキペディアで、「避妊」を検索

確実な避妊という点からはパイプカット、卵管結紮

但し、これは一度しばってしまうと2度と元に戻せないかもしれません。

(パイプカットに比べ、卵管結紮は かなり お金がかかります。)

望まない病気(性感染症)を防ぐという点からはコンドーム

説明書を良く読んで正しくお使いください。

避妊用リング(IUD)は、出産の経験のある方にオススメです。

子宮の中に小さなプラスチックの器具を入れるのですが、入れてしまえばいざというときにあわてる必要はありません。(時々ちゃんと入っているか検診に来ていただきます)

必要なくなったら(次の妊娠がしたくなったら)抜いてしまえば、次の周期から妊娠が可能です。

異物が子宮の中にはいるわけで、子宮内にばい菌が入り込めば、その巣になってしまう可能性があります、普通の方にとって大きな危険はありません。

経口避妊ピルは毎日ホルモンの入った錠剤を飲んでいただく方法。

のんではいけない人もいますが、たいがいの方には問題ありません。

「前兆のある偏頭痛」を持っているために処方できないことがよくあります。

「前兆」って何?ってことですが、

偏頭痛が起きる直前に、視野がぼやけるとか、目の前に光の点がみえるとか、イナズマが走る、そういった方は副作用が強く出る可能性があります、服用してはいけないことになっています。

もちろん、きちんと毎日飲めない方にはオススメできません。

ご希望の方はおいでください。

平成22年7月に使用上の注意の改訂がありまして、ピル処方前に「骨盤内臓器の検査および診察」が必要になりました。

内診をいたします。ご承知おきください。

(せっかくですから同時に子宮がん検診をすることをお勧めします)

試してみて、自分にはあわないと思ったらやめればよいのです。(1ヶ月2500円ぐらいです)

またピルには以下の様な効用も報告されています。

生理不順の改善

生理痛の軽減

(生理の出血が少なくなる為)鉄欠乏性貧血の予防改善

中間痛(排卵時の腹痛)の防止 月経前症候群の改善

卵巣癌・子宮体癌・卵巣嚢腫の危険の減少

子宮内膜症の予防改善

良性乳腺腫の危険が減る

骨盤内感染症(不妊症の原因となる)の危険の減少

多毛症の改善

ニキビ・脂漏症の改善

骨粗鬆症の予防